

阿南町化石館



デスモスチルス想像図



デスモスチルスの歯

〒399-1505 長野県下伊那郡阿南町富草3905番地

TEL.0260-22-2273

阿南町の化石と種類

魚類（脊椎動物）

ムカシホホジロザメの歯 *Cacharodon megalodon*

ムカシホホジロザメ（カルカロドドン メガロドン）は、ホホジロザメの祖先で、体長は15mくらいと推定されています。口を開けると人間が立ったまま入れるくらい大きなものです。このサメの歯の化石は、第三紀の標準化石として貴重なものです。

サメの歯にも大小さまざまなものがあり、富草層からは11種類のサメ類が報告されています。また旧富草中学校の校章には、このサメの歯が図案化されて入っています。



■ ホホジロザメの歯



富草小学校の校章は
古代サメの歯を図案化
したものです。



■ ムカシホホジロザメの歯



■ トクナガキヌタレガイ

斧足類（軟体動物）

トクナガキヌタレガイ *Acharax tokunagai*

富草層から産出したキヌタレガイは、貝の表面の軟らかい殻皮がよく残っている大変よい標本です。

これは静かな海底で、死後も移動することなく、そのままの姿で埋没したものと思われます。

腹足類（軟体動物）

ヤベネジヌキバイ *Japelion yabei*

大型の巻貝、エゾバイの仲間で寒い海にすむ貝です。現在みられるネジボラとかネジヌキバイとよく似た形です。

これらの貝は東北～オホーツク海などの水深100m～200mのところにすんでいます。



哺乳類（脊椎動物）

カニサイの下あご

Chilotherium pugnator



■ カニサイの下あご

富草層からは、カニサイの下あごが産出しています。カニサイというのは、この動物化石が岐阜県の可児市で最初に発見されたので、この地名の可児(カニ)をとって名づけられました。

第三紀中新世の草食の哺乳動物としては、ゾウと共に最大のもので、当時の動物相を知る上で大変に貴重な化石です。

パレオパラドキシアの歯

Paleoparadoxia tabatai



■ パレオパラドキシアの歯

パレオパラドキシアとデスモスチルスは東柱目の仲間です。共に第三紀中新世の新海生の哺乳動物です。歯に特徴があり、表紙のデスモスチルスの歯は、よく見ると鉛筆のような円柱を束ねたようになっています。この動物の学名のDesmostylusはDesmos=束とStylus=柱から構成されています。生物の進化のうえからみても大変興味深い動物です。



デスモスチルスの歯

Desmostylus japonicus

十脚類（節足動物）

シカマスナモグリ

Callianassa shikamai



ムカシブンブク

Linthia nipponica



ウニの一種ムカシブンブクは、中新世～鮮新世の地層から産出する種類である。富草累層からはムカシブンブクを含めて5種類のウニの化石がみつかる。なかでもムカシブンブクが最も多く産出する。

阿南町の化石見学コース

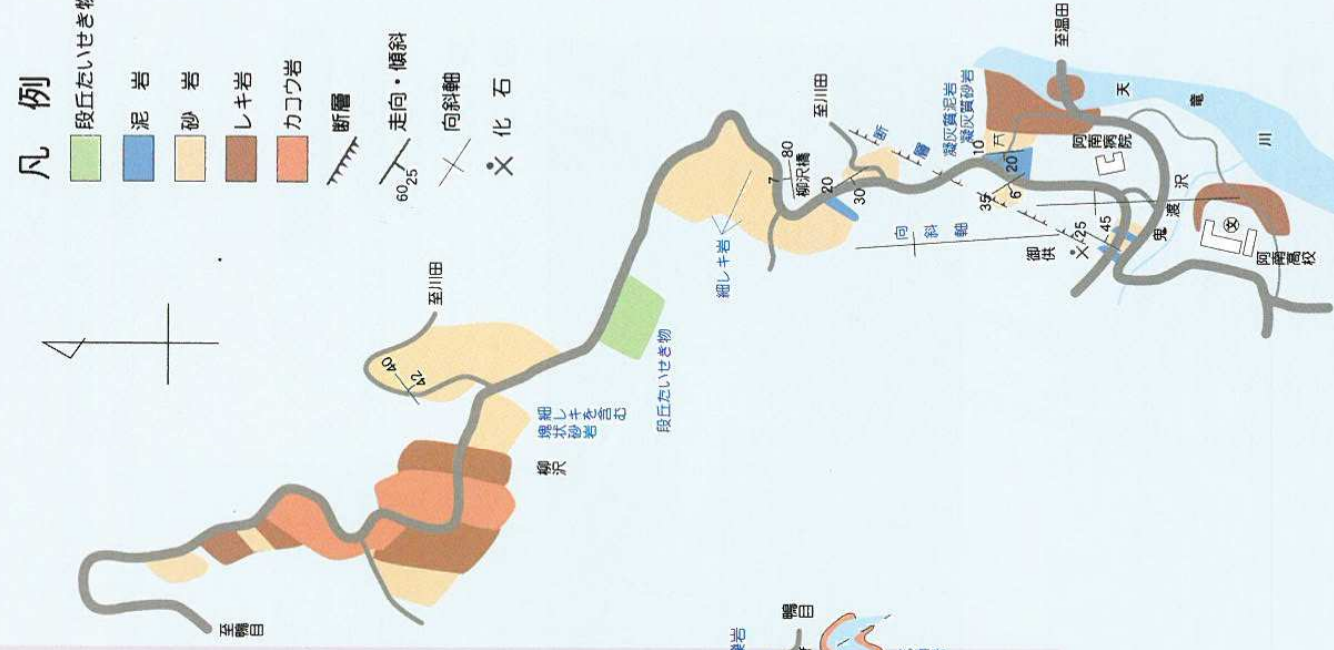
見学案内図1

栗野-浅野コース



見学案内図2

御供-柳沢コース



館内のご案内

長野県の最南端にある阿南町一帯は、新第三紀中新世（今からおよそ1,700万年前）の海底に堆積した地層が分布しており、富草草群とよばれています。

隣接する岐阜県の瑞浪層群をはじめとして遠くは広島県まで類似の地層が分布し、産出する化石もよく似たものがみられます。これらの地層を堆積した海は古瀬戸内海とよばれ、富草の海はこの古い瀬戸内海（第一瀬戸内海）の北限となっています。

阿南町の中でも特に富草の地域はたくさんの方の化石を産出することは有名です。なかでもサメの歯の化石は種類も多く、採集に訪れる人のあこがれのまゝであり、産出する化石は貝類が最も多く150種を越えています。そのほかデスマスチルスの歯やカニサイの下あごなど古生物学上の重要なものも発掘されています。

阿南町の化石館は、旧富草中学校の生徒達によって収集された標本を基礎にし、町民の協力によって、昭和52年に開館されたものです。

最近になって新たにチョウザメのウロコの化石が解明されました。また介形虫の化石が11種も大沢川の下流で発見され、微化石の新しい展示として加わっています。

なお化石館の近くには、第三紀の地層のよく見える場所や化石の産出現場があって、地質の研究や化石の学習ができるようになっています。

展示について

第三紀中新世の貝化石は現生の貝によく似ているので、化石と現生のものとを比較できるように工夫してあります。

- 化石…… だいたい色
- 現生…… みどり色



リンギエラ
一生ける化石の歌
夜間時文作

静かな夜の海底の
くさくさの泥と泥と
なまぐさの他が私
五億年の静かなる
みちを歩いた私の
傷ついた胸のまゝに
くさくさの泥と泥と
なまぐさの他が私
のみ強し
大きく揺るぎ
感にいつまでも
華やかな母の仲間の
遠くまで来た墓に
つましく私も私
まじり生きた私が
つよく私の胸をいつ
孤独の海に沈んで
くさくさの泥と泥と
くさくさの海の底に
いつまでも私は
生き続けて行くであろう

入館料

	一般	小・中学生
個人	100円	50円
団体 (20名様以上)	80円	40円

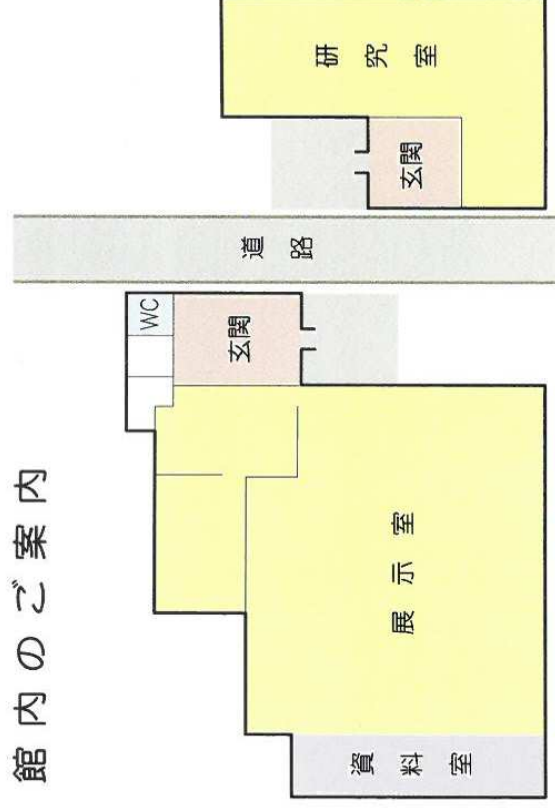
開館時間

●午前9:00～午後4:00

休館日

- 毎週月曜日
(ただし月曜日が祭日の場合は翌日)
- 年末年始
(12月28日～1月3日)

館内のご案内



阿南町教育委員会

TEL.0260-22-2270

URL

<http://www.town.anan.nagano.jp/>

E-mail

kyouiku@town.anan.nagano.jp

